

豊岡市障害者計画策定に係る グループインタビュー結果（概要版）

●実施概要

①実施期間

平成28年7月2日～8月10日

②参加者

各グループ4人～13人の障害者本人およびその家族、支援者、進行役委員等

●グループメンバー概要

グループ	障害種別	対象者	日時		場所
A	肢体障害 内部障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月14日（木）	14:00～15:30	豊岡市役所立野庁舎 A会議室
B	視覚障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月22日（金）	10:30～12:00	豊岡市民会館 2階 第2小会議室
C	聴覚障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年8月10日（水）	19:30～21:00	豊岡健康福祉センター 第2会議室
D	知的障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月2日（土）	10:30～12:00	豊岡市役所立野庁舎 A会議室
E	発達障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月27日（水）	13:30～15:00	地域活動支援センター の～らステップ
F	精神障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年8月4日（木）	14:00～15:30	豊岡シルバーステイ （ほおずきと療育センター風の間）
G	重症心身障害者	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月29日（金）	13:30～15:00	北但広域療育センター
H	障害児等	障害者本人 家族 支援者等	平成28年7月11日（月）	10:45～11:40	出石特別支援学校

●グループインタビュー結果についての注意

グループインタビューのとりまとめについては、できるだけ参加者の発言を反映しておりますが、一部の名称や表現などを修正しております。

(A. 肢体障害者・内部障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイディア
交通の場面	○円山大橋の東にある坂道の段差や勾配をなくして緩やかな坂にして欲しい。自転車だと危ない。 ○豊岡はノンステップバスが少ない。 ○全但バスの入り口の段に高さがあり不便。 ○コバスは乗り降りの際にステップがあり、少し上りやすい。 ○今は車に乗ることが出来るが、年を取って車に乗れなくなったら困る。 ★ノンステップバスを増やしてもらったらありがたい。 ★バス運転手には声かけの意識付けだけでもしてほしい。何も声をかけられないのは、不安になる。 ★駐車場などで自分が助けてほしいときに人を呼べるようにしてほしい。助けが欲しいのに、どこに声をかけていいのかが分からないし、人が通りかかるのを待つことになる。 ★JR の障害者割引は 100 キロを超えるのが条件であるが、その制限を廃止してほしい。 ★遠方の病院に通っているため、特急を使っているが特急割引がない。飛行機代は市から割引があるので特急券も障害者割引を設けてほしい。 ★他市は、市バスが、高齢者と障害者は無料であるので豊岡も社会実験としてやってみてはどうか。 ★長く歩けないので、コバスを家の近くまで通るようにしてほしい。コバスのルートやバス停を増やしてほしい。
災害の場面	○一人で避難所に行くのは難しい。 ○豊岡の水害の時は防災無線が雨で聞こえなかった。 ○水害の時に市役所へ電話したが通じなかった。 ○災害時は、外に出る方が危ないため、外に出ないようにしている。 ○車で逃げても、車が止まったらそこから動けなり困る。 ★災害が起きた時のためにパウチ (ストーマ装具) などの保管場所をつくってほしい。
公共施設の場面	○駅のホームで階段の横を車椅子で通過するとき、少し線路側に傾いてあったり、点字ブロックもあることで移動しづらく、線路に落ちそうで不安。 ○外に出かける際、最初に確認するのが、トイレ、自動販売機、休憩所だが、どこにあるのか分からないことがある。トイレも障害者用トイレの場所が分かっていないと不安でなかなか外出できない。 ○福社会館の裏の喫煙場所からの上り口にスロープがない。 ★場所ごとにここにトイレがある、ここに休憩所がある、などわかりやすく表記してほしい。希望を言うと事前に分かる方がより安心して外出できるからマップなどがあればわかりやすい。

(B. 視覚障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイディア
交通の場面	★だいぶ前から言っているが、タクシー券（48枚）が毎回1枚しか使えないところを一回で複数枚使えるようにしてほしい。そうすれば、視覚障害者の社会参加が容易になるのではないかな。他市ではやっている。
交流の場面	○今までの行事に参加してない人は、広報での発信だけでは参加しない。 ★市で交流会をしてほしい。（楽しむ場と困っていることを話す場） ★参加してない障害者に対して「来てください」ではなくこちら側が迎えにいけるような仕組みがほしい。
災害の場面	○今は困っていないが、災害などで一人になった時に、弁当の支給場所もわからない、トイレの場所もわからない。そういう場合はどうすればいいのかがわからなくて不安。また、まわりの人に聞いたりすれば情報は収集できるが、常に聞くことも難しい。豊岡市は、避難所での体制はどうなっているかがわからない。
行政手続きの場面	○利用できる福祉サービスを理解している当事者は少ないと思う。
買い物の場面	○買い物の時にお金を間違った時が怖い。
公共施設の場面	○外出時にトイレや休憩場所などの場所の把握が難しい。 ○福祉会館の玄関の音声ガイドが故障している。 ★トイレなどに音声案内を増やしてほしい。 ★市役所のトイレに音声案内がほしい。
支援の場面	○（支援者）点訳ボランティアの高齢化が進んでいる。若い方のボランティアが集まらない。 ○（支援者）ガイドヘルパーの不足により遠い所は、同行援護できないという現状。 ★（支援者）専属のガイドヘルパーなどがあれば、利用者を遠いところまで同行できる。 ★（支援者）交流の場に参加していない人に参加してもらいたい。来られていない方に広報をしてほしい。
外出する場面	○外出したいが、家族の心配やトラブルを避けて外出しない人も多いと思う。 ★家にこもりがちな視覚障害者に社会参加してもらいたい。
通信の場面	★福祉のしおりの内容や社会参加することができる会や組織の紹介などを盛り込んだCDを配布し、福祉サービスなどを知ってもらいとともに社会参加してもらえらるきっかけづくりをしてみてもどうか。
思い・その他	○頼むだけではなく、自分でも工夫して改善できるようなことは改善していきたい。

(C. 聴覚障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイディア
交通の場面	○駅で、電車の遅れが文字で表示されていないので困ったことがある。 ★電車でも、音声の案内だけでなく、目で見て情報が入手できるようにしてほしい。
福祉サービス利用の場面	★手話通訳の派遣事業の充実をしてほしい。 ★通訳派遣の幅を広げてほしい。
交流の場面	○防災無線で地域行事の情報が流れているが、聞こえなくてわからない。 ★地域行事の情報を FAX など流してほしい。
就労の場面	★職場の研修などに、講師は手話ができなく、資料を見るだけになってしまう。 昇格のための手話通訳の派遣を企業へできるようにしてほしい。
権利擁護・差別の場面	★（支援者）障害者差別解消法がスタートし、行政は法的義務で、民間は努力義務であるが、きちんと努力してもらえよう取り組みをしてほしい。 ★豊岡市議会のインターネット中継の内容に対しての手話通訳がなく、わからないのでワイドで手話通訳をつけてほしい。
災害の場面	★災害時に聴覚障害者が集まることができるようなマップを作してほしい。 ★避難所でベストを着用するなど、一目で障害がわかるような工夫がほしい。 ★同じ障害のある人が、バラバラに避難所へ避難するよりも一箇所に集まりたい。その方が、安心するし、コミュニケーションが取れる。また、手話通訳者も一箇所に集まることが出来る。
行政手続きの場面	★（支援者）専任通訳者がいる行政窓口を設けて、相談体制を充実させてほしい。
買い物の場面	○お店のドライブスルーへ行くときに、口頭での注文ができないで困る。 ★お店のドライブスルーの時に、タッチパネルなどで注文できるようにしてほしい。
意識啓発活動の場面	○障害者週間の間に何をしているかが分からない。 ○（支援者）手話の養成講座の受講生が少ない。 ○（支援者）手話通訳者の養成講座の参加者が多くなるような工夫が必要。 ★（支援者）障害者週間の時に手話講習会などを開講してほしい。 ★（支援者）手話通訳者の人口を増やしたい。 ★（支援者）市民が簡単な手話ができるような教育を進めたい。 ★それぞれの学校で手話教室を開いて欲しい。そうすれば、社会参加が広がると思う。
観光・おもてなしの場面	★（支援者）観光している聴覚障害のある人に対して、市民が手話であいさつできるような環境をつくりたい。
思い・その他	★（支援者）手話通訳者を正規職員（経済的な保障）として配置してほしい。

(D. 知的障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイディア
交通の場面	○通常は自転車で仕事場に通っているが、雪などで自転車が使えない場合にバス利用する。しかし、バス停が遠く自転車で行くより大変になる。 ○免許を持っていないので行動範囲に制限がある。 ★(保護者)ほとんどが車の免許を持っていないため、交通網が発達している所にグループホームを作してほしい。
生活の場面	○火やガスなどが怖くて、料理が作れない。 ○お金の管理や家事は、親がいないと困る。 ○(保護者)親の高齢化が進み、子どもに支えられないといけないう年齢になってきた。 ○(保護者)親子同士で支え合いながら役割を持って生活することは、生きがいに繋がる。 ○体調管理は、自分で考え、わからない時は相談している。 ○(保護者)高齢化が進み、親がいなくなった後が心配。元気な時に考えないと、何かが起きてからでは遅い。 ○家では、自分の意見が言いにくい。 ★今の家で自立した暮らしがしたい。
福祉サービス利用の場面	○豊岡市のグループホームは少ない。 ○(保護者)グループホームは地域の人々の理解が必要。 ★(保護者)今は一緒に暮らしたいが、ゆくゆくは、一緒に入れるグループホームがほしい。 ★1つの建物に、障害者と高齢者が合同で住めるグループホームがほしい。
交流の場面	○くすの木学級のネットワークで友だちができた。 ★くすの木学級のような機会は、今後も続けてほしい。
就労の場面	○仕事は楽しい。 ○職場でケンカしたことはない。 ○職場の人と遊びに行ったことがない。(10年以上就労の方) ○仕事で困っていることはない。
行政手続きの場面	○手帳の切り替えは自分でしている時もあれば、親にしてもらっている時もある。
買い物の場面	○買い物する場所が遠い。 ○高齢の親と買い物するときは、買ったものを持つようにしている。
選挙の場面	○政治に関心があり、この前も期日前投票に出かけた。

(E. 発達障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイデア
交通の場面	○但東は移動が大変でバスの本数が少ない。 ○原付バイクで但東の職場へ向かう時にバスがすぐ隣を通るので危険。 ○バスの回数券の販売所が少ないのでなかなか買いに行けない。 ○（保護者）家が遠いと何をするにも、車の送迎が基本となるので大変。 ★移動支援の利用者対象を広くして欲しい。 ★バスを電子マネーにすれば便利だと思う
生活の場面	★（保護者）グループホームを増やして安心した暮らしをしてほしい。
福祉サービス利用の場面	★（支援者）障害福祉サービスだけにとどまらず様々な制度を利用しながら障害者が暮らせるような仕組みがほしい。
交流の場面	○交流会などの余暇活動の場所が遠いとあきらめることもある。 ○休みは家で過ごすことが多い。
就労の場面	○豊岡市が合併により広くなったことで、就労場所と住居の距離が遠くなった。 ★（保護者）大きな会社が就労の意思がある障害者に対して雇用する機会を増やしてほしい。 ★就職に関しては、自分ができるところ、できないところを把握しアピールする必要がある。
権利擁護・差別の場面	○発達障害は周りから理解されにくい。 ○障害者扱いされていやな思いをしたことがある。 ○（支援者）自分が発達障害だとわかっている人は少ない。 ★（支援者）障害者はマイノリティではなく、共存することが必要。
助成金受給の場面	★（保護者）障害年金をもう少し増やすことができないか。（ほとんどが生活費として消えてしまい、社会参加するための費用を増やしたい）
地域活動支援センターの場面	○（支援者）たくさんの人が事業所にいると行きにくい障害者もいる。 ○（支援者）たくさんの方がいると事業所に行きにくい方が普段どういう生活をしているか把握できていない。 ○（支援者）役割を持って仕事や創作活動をしてもらいたいききして活動している。 ○（支援者）踏み出す場としてやりたいことをやってもらうように心掛けている。 ○（支援者）利用者が利用しなくなったあとの進路はある程度把握している。 ○（支援者）利用者には障害者年金をもらっているから就労継続支援B型でいいかなと思っている方もいる。

(F. 精神障害者グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイディア
交通の場面	○手帳を持っていないのでバスの料金が半額にならない。 ○交通手段が便利ではない。 ○バス料金の掲示板に、障害者割引の料金が無いので計算しにくい。
生活の場面	○親が亡くなると、一人で暮らしていけるかが不安。 ○施設や家族に、自分の病気や障害を理解してもらっていると思う。 ○家族に病気を理解してもらえない。 ○近所に、自分の障害のことを知られていると思うが、いやな思いをしたことがない。 ★パートナーと、声かけや、相談しながら生活をしていきたい。 ★声をかけ合える人がいなくて、部屋が片付かない。 ★体調が悪い時に片付けなどを手伝ってくれる人がほしい。 ★今は家族と暮らしているが、今後一人暮らししていきたい。 ★入居者同士が一緒に楽しめるようなアパートに住みたい。
福祉サービス利用の場面	○昔は、一人で暮らしていたが、ショートステイできてうれしい。 ○社会福祉協議会にお金の管理をしてもらっている。 ★昔、病気がしんどくて、引きこもりがちになったときは、一人でゆっくりできる場所（ショートステイなど）がほしかった。 ★65歳になると、介護保険に移るらしいが、サービスがどのように変わるかわからない。また、手続きもわからないので不安。
交流の場面	○自分の話を聞いてくれる人がいない。理解してくれる人がいない。 ○地元の喫茶店は高いが、相談や話し合う場になっている。 ○障害が理由で遠くへ行けないことで、友人と疎遠になっていく感じがするので自分から避けてしまう。 ★社会に参加できる場がほしい。
就労の場面	○仕事は、今が落ち着いてから探していきたい。 ○病気になる前に、仕事の資格やスキルを取っていればよかった。 ○薬の副作用が心配で、仕事ができない。 ○仕事はしたいけども、通院しながらだと大変。 ★仕事に必要な、資格やスキルを勉強したい。
相談する場面	○病気がわかったときは、どこに相談すればわからなかった。
入院・通院する場面	○入退院の繰り返しで引き取り手がなくなって困った。 ○病院に通院するとお金がかかり、障害年金だけでは、足りなくなってしまう。 ○病気で引きこもりがちなときに病院の先生から障害者施設を紹介してもらって助かった。 ○入院している時は、お金を管理することがなかったが、いきなり一人暮らしすると難しい。

(G. 重症身心障害者グループ)

場面	○…現状・課題	★…ニーズ・アイディア
生活の場面	○家族で出かけることが少ない。 ○当事者の兄弟の行事に出ることが困難。	
福祉サービス利用の場面	○ショートステイを利用している時に「親が楽をしたい」と思われることがあるので預けにくい。 ○小児科の先生から、当事者が20歳になったら小児科を卒業してほしいと言われて困っている。 ○学校を卒業してからだと、ショートステイが受け入れにくくなっている。 ○20歳すぎたら小児科を卒業してほしいといわれるが、その他の科で見てもらえる医師が少ない。	★土日祝に預かってもらえて、夜間も対応してくれるショートステイが欲しい。 ★親がいなくなると危険。ショートステイが必要であり、利用できる条件や内容を充実してほしい。 ★ショートステイが人員不足であれば、いつも利用している訪問介護の方やヘルパーの方に入ってもらえないか。 ★小児科を卒業しても、ショートステイを利用できるようにしてほしい。
交流の場面	★元気で、病院にかかることがない重症心身障害児もおり、かかりつけ医がいない状態である。しかし、突然病気になったりするとかかりつけ医がいないと大変なので、声かけをしてほしい。 ★健常者と障害者の交流を増やして欲しい。	
権利擁護・差別の場面	○差別が残っている。子どもに「へんなのがいるぞ」と言われた。 ★子どもだけではなく、親にも障害者への理解を深めてほしい。	
災害の場面	○災害時安心ファイルの更新方法がわからない。災害情報は共有され、連携できているのか。 ○これから親の高齢化が進むと、障害者を抱えて避難できない。 ★障害種別ごとに、利用できる避難場所の対応マニュアルを作してほしい。 ★豊岡市は、災害に対してどのような備えがあるか教えてほしい。	
相談する場面	○悩んでいることをどこに相談すればいいかわからない。 ○相談所まで行って相談することが大変なので、行かない人も多いと思う。 ○相談員の異動がはげしくて馴染めない。信頼関係が築けないまま異動してしまう。 ★制度を詳しく知らないので相談した時に、多くの提案をしてほしい。 ★豊岡市の合併前は、保健師が訪れて、相談ごとだけではなく、日頃の話を聞いてくれる機会があった。しかし、話を聞いてくれる機会がなくなっている。親の精神面にも寄り添ってもらえる相談の場がほしい。	

(H. 障害児等グループ)

場面	○…現状・課題 ★…ニーズ・アイデア
交通の場面	○自転車で街中（出石）の曲がり角を曲がる際に建物が死角となり自転車や車、人にぶつかりそうになる。ミラーがあっても見えにくい。 ○道端に溝が多いので自転車などで通るときに危険。 ○冬は、道が凍っているところがあり、滑りやすく危険。 ○自転車で通学している時に暗くて周りが見えにくい。 ○乗り物の乗り方では困ったことがない。 ○実習などで電車に乗る練習をしているので安心して乗れる。 ★バスなどの運行本数を増やして欲しい。
生活の場面	○人と話すときに思いを伝えることが難しい。 ○家族が帰ってくるまでごはんが食べられない。 ○施設に大きい声を出す人がいるから気になる。
学校の場面	○先生の話さきけているか不安。 ○先生の話を実際に聞くためにメモと取るようにしている。
放課後の場面	○一人でごはんが作れない。 ○家に置いてあるごはんをいつ食べていいのかわからない。 ○学校から家に帰ってすぐ寝てしまうので夜は眠れない。 ○友人がいないので遊びに行くことがない。 ○インターネット使用時に悪質なサイトにアクセスしてしまったことがある。悪質なサイトにアクセスしてしまった時は親を呼んで解決した。 ○宿題をやっていたら遊ぶ時間がなくなる。 ○昔の友人に追いかけて、捕まりそうになった
余暇の場面	○家族や友人、先生と話す。 ○小説を書く。 ○生徒会の活動をする。 ○漫画を書く。 ○イベント（祭りなど）を楽しむ。